Ｂ－１　課題文によるワークシート

「おおきなカブ」というロシアの昔話があります。トルストイが再話したものが絵本にもなっていますので、読んだことがある方も少なくないでしょう。

おじいさんがカブを植えたところ、元気のよいとてつもなく大きなカブができました。おじいさんだけでは抜くことができず、おばあさんを呼んできて一緒に引っ張ってもだめ。孫を呼んできても、犬を呼んできても、猫を呼んできてもまだ抜けず、最後にネズミを呼んできて皆で引っ張ってようやくカブが抜けたという話です。

やっとカブが抜けてよかったよかったというところで昔話は終わるのですが、この後にたとえば次のような話が続いていたとしてみましょう。

おじいさんがカブを市場に売りに行くと、銀貨３０枚で売ることができました。そこでおじいさんは、手伝ってくれた犬、猫、ネズミに、お礼として銀貨１２枚を渡して、皆で分けるように言いました。３匹は公平に分けようということになったのですが、どうするのが公平かをめぐって犬とネズミの意見が分かれました。

犬の言い分はこうです。

「たくさん力を出したものは多く、力を少ししか出さなかったものは少なく、それぞれの働きに応じて分けるのが公平だろう。そこで、僕が６枚、猫が４枚、ネズミが２枚というのが公平な分け方だ。」

それに対してネズミの言い分はこうです。

「皆が一緒に協力しなければカブを抜くことはできなかったんだし、皆それぞれ自分の持っている力を精一杯使ったというのは同じなんだから、ここは４枚ずつに分けるのが公平だよ。」

２匹が延々と議論をしている横で、どちらにしても４枚の銀貨がもらえそうな猫は、はやく銀貨が欲しいなぁと思いながらいつの間にか眠り込んでしまいました。

「福井県立大学経済学部 平成１７年度後期入試小論文問題」より引用

★　上の文を読んで、犬の分け方とネズミの分け方を比べて、より公平だと考えるものを選択し、その理由を書いて下さい。なお、必ず犬かネズミのどちらかの立場に立つこと。

公平だと思うのは＿＿＿＿＿の分け方

H No.　　Name